

平成24年度 指定管理施設の管理運営評価表

担当室 市民スポーツ室

1 管理運営の状況等

(1) 施設名	名張市体育施設
(2) 指定管理者 (名称、所在地)	株式会社東大阪スタジアム 東大阪市下小阪2丁目9番17号
(3) 施設の利用実績 (利用者数、事業内容等)	平成24年度 利用者数： 204,526人(前年度比102.5%) 事業内容：名張市体育施設(11施設)の管理運営
(4) 市支出額	指定管理料 24,840,000 円
(5) 管理運営の状況	<ul style="list-style-type: none"> ①施設等の利用の許可に関する業務 ②施設等の利用に係る料金の収受に関する業務 ③公共施設予約システムに関する業務 ④施設等の維持及び修繕に関する業務 ⑤物品等の貸し出しに関する業務 ⑥市の行政施策との連携 ⑦施設・設備の清掃、保安等の管理業務 ⑧市との連絡調整及び事業報告 ⑨その他、必要な業務

2 事業計画の達成状況

計画区分	達成状況
平等利用の確保及びサービスの向上	徹底した社員の教育により、利用者の平等性を確保し、利用者全体から概ね好評を得ている。
施設の効用の最大限の発揮(利用促進、利用者増など)	陸上競技場の利用促進を図ったり、体育館でサーカス興行等に取り組み、収入の増加策を講じるなど努力がうかがえる。
施設の適切な維持管理及び経費縮減	指定管理者自体の取引ある修繕業者等の活用や、社員による小修繕を行うことで経費の縮減を図っている。また、指定管理者が市外で経営しているスポーツクラブの運営手法の良い点を積極的に取り入れ、適切な維持管理に努めている。
管理を的確に行う人的構成(組織体制等)	閑散期、繁忙期に応じ、人員管理を行っている。繁忙期には、指定管理者本社からの応援を受けたり、短期アルバイトの雇用により、人員を確保している。

3 施設設置者(名張市)評価

指定管理初年度の対応として、前管理者を踏襲するだけでなく施設利用する住民目線を新たな基準とし、施設点検、不備に対する処置、運営体制の整備など、かなりの努力をされている点は評価できる。自主事業の展開に積極的な姿勢を見ることができたので、次年度以降かなりの期待をするところである。

(様式6)

平成24年度 体育施設の管理運営業務にかかる収支決算書

(単位：円)

区分	項目	計画額	決算額	決算額の内訳
収 入	利用料金収入	20,000,000	21,234,432	体育施設利用料 21,234,432
	事業収入等		1,416,108	自主事業イベント収入等 1,416,108
	市指定管理料収入	24,840,000	24,840,000	指定管理料収入 24,840,000
	入ホ-ツ振興推進事業		1,341,000	入ホ-ツ振興推進事業委託業務 1,341,000
	その他雑収入		1,417,374	自動販売機電気料金等、 総合型地域スポーツクラブ事務所 利用料等
	収入合計 (A)	44,840,000	50,248,914	
支 出	人件費	13,835,398	25,276,219	給料手当 12,771,510 体育施設スタッフ賞金 10,139,868 福利厚生費 658,782 法定福利費 1,706,059
	事務費	4,050,000	1,698,187	消耗品費 653,663 租税公課 18,700 支払手数料 699,645 通信費 326,179
	事業費	1,881,600	1,387,064	宣伝広告費 491,100 自主事業経費等 (諸謝金) 895,964
	管理費	26,020,000	27,004,857	委託管理 11,319,375 水光熱費 13,208,193 修繕費 1,846,727 リース料金費 630,562
	施設管理事務経費	250,000	467,887	事務施設管理用品費 467,887
	その他の経費 (プール経費)		4,341,272	プールアルバイト賃金 3,992,002 保険料 161,060 交際費等 2,310 雑費 185,900
	支出合計 (B)	46,036,998	60,175,486	
収支 (A) - (B)		-1,196,998	-9,926,572	